

2010(平成 22)年 10 月 22 日

各位

エクソンモービル有限会社
東京都港区港南一丁目 8 番 15 号
問合せ先:
広報渉外部 田所
TEL:03-6713-4378

日本ブチル株式会社 川崎工場にてブチルゴムの生産能力増強工事を完了

エクソンモービル有限会社(本社:東京都港区、社長:P.P.デューコム)は、同社が50%の株式を保有する日本ブチル株式会社の川崎工場において、ブチルゴムの生産能力増強工事が完了したことをお知らせいたします。これにより、日本ブチル株式会社のブチルゴム年間生産能力は、18,000トン増の98,000トンとなりました。

今回の増強は、ブチルゴムへの高まる需要を満たすためのエクソンモービル・ケミカルの取り組みの一環であり、同社の近年の製造技術の進歩を示すものです。たとえば、同社独自の技術により、通常は-95℃で起きるブチルゴムの重合反応を-75℃で起こすことが可能になりました。この結果、省エネルギーおよび設備投資の大幅な効率化がもたらされます。

こうした新たな技術の進歩は、成長を続けるブチルゴム市場に対応すべく、エクソンモービル・ケミカルが続けてきた長年に渡る取り組みの一環です。また、エクソンモービル・ケミカルは、信頼される高品質ブチルポリマーの供給メーカーであり続けることが、特に、急速に拡大するアジア太平洋地域の市場では重要だと考えています。

エクソンモービル・ケミカルは、製品性能の向上により、省エネ、製品寿命の長期化および温室効果ガス排出削減といった付加価値をもたらす高品質ブチルポリマーの開発と応用において業界をリードしています。

また、ブチルゴム業界のニーズ拡張への対応にも継続的に取り組んでおり、今回の日本ブチル株式会社の増強は、増大するブチルゴム市場に対応するために当社が近年実施した増強のなかで最新のものです。エクソンモービル・ケミカルは、2008年に、米テキサス州ベイタウン工場のハロゲン化ブチルゴムの生産能力を60%増強しています。また、2006年には、日本ブチル株式会社鹿島工場のハロゲン化ブチルゴムの生産能力を年間 17,000トン増強しています。

以上

日本ブチル株式会社について

日本ブチル株式会社はエクソンモービル有限会社とJSR株式会社の合弁会社でブチルゴムの製造会社です。日本ブチル株式会社は主にアジア地域のブチルゴム供給基地として発展してきました。エクソンモービル有限会社は日本ブチル株式会社の株式の50%を保有しています。詳細につきましては、こちらのサイトをご覧ください。 <http://www.j-butyl.jp/>

エクソンモービル有限会社 および エクソンモービル・ジャパングループについて

エクソンモービル・ジャパングループは、エクソンモービル有限会社を中心に、東燃ゼネラル石油株式会社、東燃化学を含む複数の子会社・関連会社で構成されています。エクソンモービル・ジャパングループは、日本を代表する石油製品、潤滑油、石油化学品の製造・販売業者であり、その創業は1893年にさかのぼります。エクソンモービル有限会社は、米エクソン モービル コーポレーションが100%の株式を間接的に保有する子会社です。東燃ゼネラル石油は、東京証券取引所第一部に株式を上場しており、エクソンモービル有限会社が50.02%の株式を保有する子会社です。詳細につきましては、こちらのサイトをご覧ください。 www.exxonmobil.jp/ ; www.tonengeneral.co.jp

エクソンモービル・ケミカルについて

エクソンモービル・ケミカルは、世界の大手石油化学メーカーの一社で、世界中で製造、技術開発および販売を行っています。高い顧客価値および株主価値をもたらすべく、幅広い製品およびソリューションを効率的かつ確実に提供します。エクソンモービル・ケミカルは、経済成長と社会的発展、そして環境への配慮のバランスをとることを心がけながら、持続可能な発展の原則を支持しています。詳細につきましては、こちらのサイトをご覧ください。 www.exxonmobilchemical.com

エクソンモービルのブチルポリマーについて

エクソンモービル・ケミカルのブチルポリマー事業は、65年超の実績を有し、ブチルゴムの技術、サービスおよび製品において世界をリードしています。エクソンモービル・ケミカルのブチルポリマーの詳細につきましては、こちらのサイトをご覧ください。 www.butylrubber.com